

# 実戦データを 反映するため レースへ積極参加

'99年の終わりにプロ野球・中日ドラゴンズの山本基広選手、山崎選手主催によるレース「山々杯」が中京エリアのRCメッカ、名古屋・ミワホビーサーキットで開催され、TRF前住、三浦選手らが参加。414型生産時の貴重なデータを収集した。

## ロールを積極的に使う曲がりやすい仕様

全日本選手権優勝経験のスペアカーをベースに作り上げた前住選手のマシンの要諦、結合部をゆるめ、基本的なセッティングは変えていないというが、コーナーのRが比較的小さいサーキットということから、サスペンションのスプリングを柔らかくして、ロールを積極的に使い、曲がりやすい仕様にしたという。

前住は「414Xは十分速かったから、変にいじるのはやめました。やはりリフレクションの少なさと、高精度なパーツが、ライバルとのアドバンテージを作ったんでしょうね。ここは僕のホームコースだから、データがいっぱいあるんです。どんな状況になってもね。414になればさらにタイムアップするはずですよ」ともつけ加えた。



全日本選手権優勝経験のスペアカーをベースに作り上げた前住選手のマシンの要諦、結合部をゆるめ、基本的なセッティングは変えていないというが、コーナーのRが比較的小さいサーキットということから、サスペンションのスプリングを柔らかくして、ロールを積極的に使い、曲がりやすい仕様にしたという。



全日本と同じ様と  
いっても、山々杯  
で使用したのは、  
全日本時のスペア  
カー、メインシャ  
シーなどの形は  
異なるが、基本  
的なディメンショ  
ンに変更はない。バ  
ッテリーはストレ  
ートパックをグラ  
ステープで止める  
カチを取る



レースではボールこそ通したものの、見事総合優勝したTRF414X前住車。基本形には全日本出場時と変わらないものの、サスアームやダンパー、スプリングなどはキット外のパーツとする

# TRF414X 山々杯仕様車